

企画展

中川平一 風景画でたどる調布のいまむかし 作品展



▲ 京王相模原線乗り 2001年



▲ からくり時計のある風景 1992年



▲ 深大寺本堂 1989年



▲ 多摩川風景(夜明け) 2012年



▲ 飛行場の富士 1992年

会期 令和5年 7月1日(土)
→ 9月18日(月祝)
会場 調布市郷土博物館
1階展示室

主催 調布市郷土博物館

入館無料

住所 東京都調布市小島町3-26-2

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

電話 042-481-7656

交通 京王線京王多摩川駅下車徒歩4分

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会期・休館日等に変更が生じる場合があります。最新情報は、調布市HP・郷土博物館ツイッターをご確認ください。調布市郷土博物館までお問い合わせください。

ホームページ



Twitter



HP ▶ <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/>

Twitter ▶ https://twitter.com/chofu_museum

中川 平一氏は、昭和40年代から調布市内の小学校に教師として勤める傍ら、約60年にわたり調布のまちの移り変わりを市内各地で描き続けています。令和4年度に中川氏よりペン画、水彩画、油彩画等の171点にのぼる作品を当館に寄贈していただきました。本展では、寄贈作品の中から、甲州街道、多摩川、深大寺など調布を代表するモチーフや、駅前のにぎわいや豊かな自然などを描いた作品を紹介します。かつて見られた懐かしい風景から、「いま」の調布の風景まで、表情を変えながら移り変わってきた調布のさまざまな風景をお楽しみください。

- ① 多摩川風景(水彩) 2016年 ② 高木履物店 1985年 ③ 郷土博物館 2022年
④ 往時の駅前風景 1980年頃 ⑤ 一本杉(水彩) 1960年 ⑥ 一本杉(素描) 1960年



1



2



3



4



5



6

中川 平一 HEIICHI NAKAGAWA

- 1939年 東京 新宿に生まれる
- 1945年 調布に転居(調布第一小、調布中、都立神代高校で学ぶ)
- 1963年 東京学芸大学美術科卒業
- 1964年～ 調布市立染地小、第三小、上ノ原小、深大寺小、杉森小に勤務しながら、近隣の風景画を描く
- 1965年 第1回個展を開催。以降計18回の個展を開催
- 1984年～ タウン誌「ちょうふとーく」に調布・泊江百景を連載
- 2004年 調布市文化会館たづくりにて「中川平一風景画展 調布を描いて40年」開催。『中川平一風景画集1』出版
「調布淡彩画の会」の講師に就任
- 2009年 調布市文化会館たづくりにて「中川平一風景画展 調布を描いて45年」開催。『中川平一風景画集2』出版
- 2010年～ カレンダー「わが街・調布」を刊行
- 2014年 調布市文化会館たづくりにて「中川平一風景画展 調布を描いて50年」開催。『中川平一風景画集3』出版
- 2015年 調布市市政功労賞(芸術・文化)受賞
- 2020年 『中川平一風景画選集 調布を描いて55年(愛蔵版)』出版
- 2021年 調布市文化会館たづくりにて「中川平一風景画展 調布を描いて55年」開催
- 2023年 171点の作品を調布市郷土博物館に寄贈

【開催によせて】

コロナ禍により個展開催を見送ってきましたが、このたび調布市郷土博物館の主催で表記の展覧会が実現でき喜んでます。新収蔵作品の中から美しい調布、懐かしい調布、伝統豊かな調布の姿を選びすぐって展示します。本館常設展と併せて、「これぞ調布!」のイメージを刷新下さい。お問い合わせの上、ご来場をお待ちします。 中川 平一



◇ ギャラリートーク

【日時】令和5年7月8日(土)午後2時～(30分程度)
【会場】調布市郷土博物館 1階展示室
【解説】中川 平一氏
【定員】15人(当日先着順)

参加無料

〈関連展示〉調布市文化会館たづくり
「マチトリドリ 調布を描くイラスト展」

中川平一氏の作品を展示するコーナーがあります

【会期】令和5年7月15日(土)
～9月24日(日)

休館日 7月24日(月)・25日(火)、
8月28日(月)・29日(火)

【会場】調布市文化会館たづくり1階
展示室

黒木ユタカ「調布LOVE!」

主催：公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団

問合せ先 住所：東京都調布市小島町2-33-1

電話：042-441-6150

入場無料



調布市郷土博物館

